

平成30年 安全保障情勢概観

一 全般

我が国を取り巻く安全保障環境は北朝鮮が昨年まで核実験とミサイル発射を繰り返していたが、2月平昌オリンピック、3月25日電撃的な中朝首脳会談、4月南北首脳会談等、朝鮮半島情勢は大きく動き始めた。しかしその間中国は海洋進出を強め続け活動範囲の拡大を図っている。

また世界各所で生起する紛争の要因は複雑多岐にわたる、その脅威対象は、国家のみではなく非国家集団を標榜する組織に及び、脅威の形態はサイバー空間への攻撃、テロなどにより日常の社会を混乱と恐怖に陥れる形が全世界を覆いつつあり、気候変動とも相まって世界は従来にも増して不透明かつ不安定化し、世界の平和と安定に対する脅威は今後更に深刻なものになる可能性がある。

月までに開くことを合意したが、核ミサイル開発は直ちに手離す筈はなく、北朝鮮の軍事的脅威は変わっていない。事後の経過を注目する必要がある。

中国は、昨年10月18日開催された中国共産党第19回全国代表大会で地域大国として世界大國建設という「中国の夢」(野心的国家戦略)を掲げ、中国の夢と強軍の夢を実現するため新情勢下で軍事戦略方針を制定し、全力で国防・軍隊の近代化を推進する」としている。更に3月5日から第13期全国人民代表大会が開かれ、公表された2018予算案によると、国防費は前年比8・1%増の1兆1069億5100元(約18兆4千億円)を計上した。日本の3・7倍に相当する。

東シナ海では尖閣諸島に海警局の船舶を常時派出し、度々領海を侵犯しているが、1月11日尖閣諸島周辺の接続水域内に中国の潜水艦が進入し海上自衛隊が発見し、警告した。

また本年3月全国人民代表大会(二国会)後、機構改革案が示され、海警局が人民武装警察部隊に編入され、最高軍事機関である中央軍事委員会の指揮下に置かれる。

東シナ海における警戒監視能力が飛躍的に向上することになる。

また昨年4月から12月までの緊急発進回数は736回(前年883回で約16%減)のうち対中国機は54%となった。沖縄本島と宮古島間の宮古海峡を通過する事例が増え、東シナ海を中心とする中国軍機の活動は活発である。

南シナ海では、9段線を設定し、短期間に岩礁等を埋め立て、着実に基地化を進めている。複数の人工島で3000級滑走路や長距離地对空ミサイルを収容可能な施設がほぼ完成し、「法の支配」を無視し、南シナ海のほぼ全域を強大な軍事力で支配しようとしている。我が国にとつて南シナ海の自由利用は死活的な問題であり、米國にとつても海洋秩序の維持特に航行の自由の確保はアジアにおける平和と安全確保の最優先事項である。依然としてサラムに要注である。

ロシアはプーチン大統領が再選され強いリーダーシップのもと、「強いロシアの再現」をスローガンとして国力の回復とともに、軍事強國の建設を推し進めている。その結果、軍の活動・訓練回数も増加し、日本周辺での艦艇、航空機による周回活動も活発になっていく。また昨年4月から12月までの緊急発進回数は736回のうち対ロシア機は45%となる328回で前年同期の約42%増だった。

さらにオホーツク海周辺で大規模な抜き打ち演習を毎年実施するなど北極海航路でのイニシアチブ確保を見据えてか、極東における軍事的プレゼンスを強化している。

我が国との北方四島の領土問題では、一昨年首脳会談が行われたとはいえ、ロシアが一度手中に収めた領土を手放すとは思えず、返還は夢のまた夢になりつつある。

韓国は、平成27年末、慰安婦問題の最終的かつ不可逆的に解決することで日韓が合意、さらに一昨年11月には日本との軍事情報包括保護協定(GSO MIA)を締結し、安

平成29年度 事業報告

(平成29年4月1日〜平成30年3月31日)

- | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|----------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|----------------------------|-------------------------------|--|--------------------------|--|-------------------------------|--------------------|---------------|----------------------------|
| 平成29年4月 | 4日 空自107期一般幹部候補生入校式 (奈良) | 7日 「まもり」第198号発刊 (大阪) | 18日 29年度理事会 (大阪) | 29日 中方有識者懇談会(伊丹) | 6日 大津駐屯地創立記念日 | 14日 第3師団創立記念日(伊丹市千僧) | 3日 空自奈良基地祭 (奈良) | 3日 阪神基地隊開隊記念行事(神戸) | 6日 平成29年度会員総会 | 9日 中方音楽隊定期演奏会(西宮) | 22日 全国防衛協会連合会総会(東京) | | | |
| 7月 | 10日 「まもり」199号発刊 | 15日 阪基隊サマーフェスタ(神戸) | 16日 第3師団防衛演習音楽フェスタ | 25日 平城山納涼会 (奈良) | 26、27日 富士総合火力演習 (東富士演習場) | 3日 大阪地方協力本部創立記念日行事 (横須賀地区) | 25、26日 全国連合会研修旅行 (横須賀地区) | 6日 「まもり」200号発刊 | 6日 大阪地方協力本部創立記念日行事 | 25、26日 全国連合会研修旅行 (横須賀地区) | 6日 「まもり」200号発刊 | | | |
| 8月 | 10日 「まもり」199号発刊 | 15日 阪基隊サマーフェスタ(神戸) | 16日 第3師団防衛演習音楽フェスタ | 25日 平城山納涼会 (奈良) | 26、27日 富士総合火力演習 (東富士演習場) | 3日 大阪地方協力本部創立記念日行事 (横須賀地区) | 25、26日 全国連合会研修旅行 (横須賀地区) | 6日 「まもり」200号発刊 | 6日 大阪地方協力本部創立記念日行事 | 25、26日 全国連合会研修旅行 (横須賀地区) | 6日 「まもり」200号発刊 | | | |
| 9月 | 3日 大阪地方協力本部創立記念日行事 (横須賀地区) | 25、26日 全国連合会研修旅行 (横須賀地区) | 6日 「まもり」200号発刊 | 6日 大阪地方協力本部創立記念日行事 | 25、26日 全国連合会研修旅行 (横須賀地区) | 6日 「まもり」200号発刊 | 6日 大阪地方協力本部創立記念日行事 | 25、26日 全国連合会研修旅行 (横須賀地区) | 6日 「まもり」200号発刊 | 6日 大阪地方協力本部創立記念日行事 | 25、26日 全国連合会研修旅行 (横須賀地区) | | | |
| 10月 | 6日 「まもり」200号発刊 | 6日 大阪地方協力本部創立記念日行事 | 25、26日 全国連合会研修旅行 (横須賀地区) | 6日 「まもり」200号発刊 | 6日 大阪地方協力本部創立記念日行事 | 25、26日 全国連合会研修旅行 (横須賀地区) | 6日 「まもり」200号発刊 | 6日 大阪地方協力本部創立記念日行事 | 25、26日 全国連合会研修旅行 (横須賀地区) | 6日 「まもり」200号発刊 | 6日 大阪地方協力本部創立記念日行事 | | | |
| 11月 | 22日 空自第107期候補生防大課程卒業式 (奈良) | 29日 自衛隊記念日航空観閲式(百里) | 3日 第3師団追悼式 (千僧) | 17、18日 全国防衛協会女性部研修会 (東京) | 18日 陸上幕僚長感謝状授与(東京) | 12月 | 1日 RIPS 関西安全保障セミナー協賛 (大阪) | 8日 女性部による阪神病院患者見舞いと女性自衛官激励・慰問 (伊丹・千僧・川西) | 9日 阪神基地隊年末行事(神戸) | 8日 女性部による阪神病院患者見舞いと女性自衛官激励・慰問 (伊丹・千僧・川西) | 9日 阪神基地隊年末行事(神戸) | | | |
| 12月 | 12日 第3師団音楽定期演奏会 | 22日 全国防衛協会連合会常任理事会(東京) | 27日 中方音楽まつり (西宮) | 3月 | 8日 全国防衛協会連合会理事・評議員会 (東京) | 18日 大阪地方協力本部入隊予定者激励会 (大阪) | 19日 海自練習艦隊入港歓迎式 練習艦隊歓迎の夕 (大阪) | 20日 艦上レセプション (大阪港) | 21日 練習艦隊出港見送り | 23日 防衛省防衛大学校慰霊理事長 (東京・横須賀) | 23日 防衛省防衛大学校慰霊理事長 (東京・横須賀) | | | |
| 平成30年1月 | 6日 「まもり」201号発刊 | 7日 自衛隊協力新春懇親会(大阪) | 13日 防衛関係諸団体新春互礼会(伊丹) | 2月 | 12日 第3師団音楽定期演奏会 | 22日 全国防衛協会連合会常任理事会(東京) | 27日 中方音楽まつり (西宮) | 3月 | 8日 全国防衛協会連合会理事・評議員会 (東京) | 18日 大阪地方協力本部入隊予定者激励会 (大阪) | 19日 海自練習艦隊入港歓迎式 練習艦隊歓迎の夕 (大阪) | 20日 艦上レセプション (大阪港) | 21日 練習艦隊出港見送り | 23日 防衛省防衛大学校慰霊理事長 (東京・横須賀) |

しかしながら昨年3月10日の朴槿恵大統領の罷免により、5月10日文在寅大統領が就任したが、反日反米が強く、懸案の問題も解決するには時間が必要である。

最新ミサイル防衛システム「最高段階高度地域防衛ミサイル(THAAD)」の配備作業が始まっているが、中国の猛烈な反対もあり、完成の目途がたっていない状況にある。また平昌オリンピックを機に南北急接近の様相であるが今後の成り行きを注視する必要がある。いずれにしても日米韓の軍事協力や有事における邦人保護について準備しておく必要がある。

米國では、トランプ政権が誕生してから1年経過し、昨年国家安全保障戦略を発表した。大方針の1つは「力による平和」「米本土と米国民米国の生活様式の防衛」「米國の繁栄推進」「米國の影響

力拡大」の4本柱とし、本年国家防衛戦略で中国とロシアは米國の価値や富に挑戦する現状変更国家」と位置づけ、「北朝鮮とイランをならず者国家」と指定した。2月14日2019会計年度の予算教書で国防予算を6%増で過去最大規模の7160億(約77兆円)計上した。また核戦略体制を見直して、小型核であらゆる脅威に対処する方針である。即ち小型の新型核戦力への投資を強化し、サイバー攻撃を含む多様な攻撃に対して核の先制使用を躊躇しない。

欧州においては、ウクライナ問題に加え、域内の経済あるいは民族上の問題が露呈する一方、中東・アフリカからの難民問題が財政負担と社会不安をもたらし、さらに英国のEU離脱が代表されるように特にフランス、オランダドイツ等ナショナリズムを再燃させるなどEUの結束と域内

三我が國の安全保障について

以上周辺國の安全保障環境を概観したが、このように大きく変化する世界情勢にあつて、我が國では、平成25年12月に「安全保障戦略」が閣議決定された。平成27年4月には「日米防衛協力のための指針」が2プラス2で了承され、同年9月所謂「平和安全法制」が可決成立し、昨年3月施行された。

さらに現政権の「積極的平和主義」を具現するため、日・米・英・豪・印・伊国及びASEAN諸國との協力が必要であり、持続可能な防衛力が必要となるが、30年度防衛費は6年連続増、前年度比1・3%増の5兆1911億円と過去最大規模となった。地上配備型弾道ミサイル迎撃

システム「イージスシヨア」、ステルス戦闘機F35A、新型の迎撃ミサイルSM3ブロック2A、次期警戒管制レーダ、V22オスプレイ4機等を購入予定で、飛躍的に増強されつつあり、自衛隊の存在意義は日増しに高まっている。憲法上の正当性付与は抑止力を高めるためにも不可欠である。

そして、これを支える国民の意識がより一層重要である。東日本大震災を契機に、防衛省・自衛隊及び日米共同に対する信頼が大いに高まり、自衛隊を容認する意識の大幅な向上が見られる一方で、国民自ら家族や國を守る意識や世界の安定のために軍事力が果たす役割への理解については未だ十分とはいえない。

不安定化する国際情勢にあつて、我が國が果たすべき役割は更に大きくなるであろう。(30年4月1日文責 蛭原康治)

不幸にも昨年から米軍機による不時着、落下事故が相次いだ。今年に入ってから米軍機のみならず陸上自衛隊のA1H164「アパッチ」ヘリが佐賀県自衛隊駐屯地近くの住宅街に墜落、一機十億円以上の機体以上に2名の搭乗員が殉職された。

また米軍三沢基地を離陸直後燃料タンクから火災を起したF16戦闘機が基地近くの小川原湖に2基の燃料タンクを投棄するという事故が発生した。

自衛隊の生命をことさら大事にするのは搭乗員の士気にも大いに寄与することや、日本と違い米軍は自国の基地近くに住宅密集地が少ないこともあり、事故の際は、機体やそのパーツまでもためらうこともなく、投棄したり、所構わず不時着する傾向にある。

連載エッセイ

夕暮れの街 その78

新渡戸稲造・武士道 66



M&U スクール学長 梅谷 忠洋 (フルート奏者・「おもいで酒」作曲家)

雌鳥、関の声を上げれば

現在のようになら男女平等が叫ばれている時代に、このような諺を口にすることはとても勇気がいられます。これは孔子が記した「書経」の中の「牧誓」にある「牝雞無晨……雌鳥は時を告げることはいない、という文章からの引用です。

「牧誓」の「牧」は、周の武王が軍師太公望の作戦指揮の下、殷の紂王を討伐した地「牧野」のこと。「誓」は、戦争開始時の檄文です。殷の紂王は、中国史上、悪政の代表といわれる人物で、婦人の妬みの言いなりになって政治を行ったため、

「女が男を差し置いて政治に口出しし、紂王が言いなりになったことで悪政になった。これは亡国の予兆である」と、武王が部下達に飛ばした、紂王を放逐するときの檄文です。

我が国は戦中から海軍では艦と運命を共にする指揮官や、航空部隊も被弾したら敵陣に突っ込んでゆく搭乗員が多かったばかりか、戦後、自衛隊になってからも民間人の犠牲を出さぬよう最期まで住宅地を避けて不時着しようとするあまり、搭乗員自身が犠牲となった。(平成11年の航空自衛隊T-33A入間川墜落事故のようなケース)

それに対して米軍は政令指定都市のホントの住宅密集地にRF-4偵察機が厚木基地離陸後エンジン火災を起し、搭乗員2名は無事脱出したものの燃料満載の機体が墜落、日本人母子3人が犠牲になったばかりか火災まで引き起こした。かように沖縄に限らず、軍民間問わず、空港近くでは大なり小なり事故のリスクは付きまとうものである。このリスクを完全に無くすには

日本列島から基地や空港を完全に無くすしかない。ええの？そんなことになって……確かに沖縄には「子供たちに静かな空」に戻ってくわ。そやけど本土からの観光客ベタ減りやで、変わって島は大型客船でやって来る中国人に占められ、す



特別寄稿 不肖宮嶋が行く 「知られざる自衛隊の活躍」 写真家 宮嶋 茂樹

ぐに人民解放軍の艦船で包囲されやがて中国政府から傀儡の知事に代わって中国共産党中央委員が君臨するやう。

仮定の話はさておいてこの沖縄の米軍基地負担を軽減するため、嘉手納基地から青森の三沢基地へ

▼日本の実情 国力とは、国民と国土、そこに住まう人間の工夫と努力によって経済的發展が為されることで得られる豊かさです。従って、国勢調査が定期的に行われ、人口・世帯・産業構造などから国の勢いを算出するのです。その鍵となるのは人口です。戦前は、「生めよ増やせよ」と、まだまだ医療も未発達で新生児の死亡率も高かったため、子供をたくさん生むこと自体、国民の使命の一つでした。翻って、現代の日本では「男女同権」を曲解している向きが大勢います。「男女は法の下で平等」ではあっても、性別の機能に於いてその役割分担は明快です。そして、近年の日本に於ける人口減少は毎年二十万人以上！これは、「男女間の異変」としか考えられません。このように統計的にいうとあまりピンときませんが、市町村が毎年一つずつ消滅しているのと同じです。これは、日本の国勢に関わる由々しき問題故、その原因を明快にし、早急なる対策を打つ必

要があります。原因の第一は、若者達の異性離れが深刻化している現状です。今から十二年前、コラムニストの深澤真紀さんが、女性に対し積極性がなく、人生に安定指向を求める男性を「草食男子」と命名したのを皮切りに、その実態調査が行われました。ここで間違っていないのは、女性に對して性欲がない訳ではなく、「草食系男子」とは新世代の優しい男性のことを指し、「異性をガッツと求める肉食系とは違い、肩を並べて優しく草を食ふことを願う男性」をいふのです。定義はどうかあれ、動物学的見地から国勢が危うくなつてゆくことは必定。男が女を積極的に求めなくなり、異性に対し恐怖感のようなものを感じることで、晩婚化や結婚願望の欠如が起り、その結果少子化に歯止めが掛からなくなつて

いるのです。▼消極的な理由 近年の若者達は、自分の生活環境の中で、性、恋愛、結婚にリスクを感じて消極的になっていきます。そのリスクを大まかに分析すると、もし求愛して相手にされなかつたり断られるショックを思うことで臆病になるのです。また、相手を気にしながらの付き合いは、面倒な上、非常に疲れます。それなら、一人で居る方が気楽と考えます。それに、一人の生活に慣れ

士に負けず劣らずシャバの世界のダイバーかその名を聞いて三歩下がってひれ伏するぐらいの精鋭揃いなのである。不肖宮嶋も1991年海上自衛隊初の海外実戦派遣となった灼熱のペルシヤ湾掃海作戦から今回の厳寒の小川原湖派遣まで海上自衛隊の掃海部隊とは長い付き合いである。しかし今回の小川原湖の派遣では水中処分隊たちはかつてない困難に直面することになったのである。何となく海が活躍の舞台の海上自衛隊が湖である。海と違い、水温0度で凍てつく湖面を割りながら、潜らなイカンのだ。これが海面なら護衛艦走らせたら一発解決やが湖に護衛艦は入れないのである。かくして小川原湖名物のワカサギ釣りやあるまいし、オールで湖面の水を割り出しながら湖中に飛び

を求める女たち……これらは、元氣な精子を予感させる指標です。ここにヒトだけが、知性を極度に発展させた結果弱い男も「法の下では平等」であるとして、「一夫一妻制」が定着しました。これに反すると、世間からバッシングを受けるのは、ワイドショーで目撃した。その結果、弱い男と連れ添う女は類項作用でそれなりの女性か、または、時が経つにつれて嫌気がさし、欲求不満に陥つて男を見下すようになるかのどちらかです。それも「世間のモラル」が歯止めを掛けている内は我慢するでしょうが、現代のように女性の権利が認められるようになると、堰を切ったように離婚・離婚が進みます。その数は現在、三組に一組といわれ、これに同棲や不倫を加えると軽く六割近くになります。本来、男は欲望の塊です。人の五大欲求(睡眠欲・食欲・性欲・金欲・名誉欲)が文明を進展させ、その脇には常に戦争がありました。それに破れば死を迎え、勝てば全ての欲望が満たされるという、非情な掟を天は人間に与えました。それも、単純に強い種を保存するために……！

昭和二十年の終戦後も、フィリピンのルバンク島で二十九年間に渡って戦闘状態を続けた元陸軍情報将校・小野田寛郎少尉は、戦後の日本

「生めよ増やせよ」と、まだまだ医療も未発達で新生児の死亡率も高かったため、子供をたくさん生むこと自体、国民の使命の一つでした。翻って、現代の日本では「男女同権」を曲解している向きが大勢います。「男女は法の下で平等」ではあっても、性別の機能に於いてその役割分担は明快です。そして、近年の日本に於ける人口減少は毎年二十万人以上！これは、「男女間の異変」としか考えられません。このように統計的にいうとあまりピンときませんが、市町村が毎年一つずつ消滅しているのと同じです。これは、日本の国勢に関わる由々しき問題故、その原因を明快にし、早急なる対策を打つ必

要があります。原因の第一は、若者達の異性離れが深刻化している現状です。今から十二年前、コラムニストの深澤真紀さんが、女性に対し積極性がなく、人生に安定指向を求める男性を「草食男子」と命名したのを皮切りに、その実態調査が行われました。ここで間違っていないのは、女性に對して性欲がない訳ではなく、「草食系男子」とは新世代の優しい男性のことを指し、「異性をガッツと求める肉食系とは違い、肩を並べて優しく草を食ふことを願う男性」をいふのです。定義はどうかあれ、動物学的見地から国勢が危うくなつてゆくことは必定。男が女を積極的に求めなくなり、異性に対し恐怖感のようなものを感じることで、晩婚化や結婚願望の欠如が起り、その結果少子化に歯止めが掛からなくなつて

いるのです。▼消極的な理由 近年の若者達は、自分の生活環境の中で、性、恋愛、結婚にリスクを感じて消極的になっていきます。そのリスクを大まかに分析すると、もし求愛して相手にされなかつたり断られるショックを思うことで臆病になるのです。また、相手を気にしながらの付き合いは、面倒な上、非常に疲れます。それなら、一人で居る方が気楽と考えます。それに、一人の生活に慣れ

士に負けず劣らずシャバの世界のダイバーかその名を聞いて三歩下がってひれ伏するぐらいの精鋭揃いなのである。不肖宮嶋も1991年海上自衛隊初の海外実戦派遣となった灼熱のペルシヤ湾掃海作戦から今回の厳寒の小川原湖派遣まで海上自衛隊の掃海部隊とは長い付き合いである。しかし今回の小川原湖の派遣では水中処分隊たちはかつてない困難に直面することになったのである。何となく海が活躍の舞台の海上自衛隊が湖である。海と違い、水温0度で凍てつく湖面を割りながら、潜らなイカンのだ。これが海面なら護衛艦走らせたら一発解決やが湖に護衛艦は入れないのである。かくして小川原湖名物のワカサギ釣りやあるまいし、オールで湖面の水を割り出しながら湖中に飛び

を求める女たち……これらは、元氣な精子を予感させる指標です。ここにヒトだけが、知性を極度に発展させた結果弱い男も「法の下では平等」であるとして、「一夫一妻制」が定着しました。これに反すると、世間からバッシングを受けるのは、ワイドショーで目撃した。その結果、弱い男と連れ添う女は類項作用でそれなりの女性か、または、時が経つにつれて嫌気がさし、欲求不満に陥つて男を見下すようになるかのどちらかです。それも「世間のモラル」が歯止めを掛けている内は我慢するでしょうが、現代のように女性の権利が認められるようになると、堰を切ったように離婚・離婚が進みます。その数は現在、三組に一組といわれ、これに同棲や不倫を加えると軽く六割近くになります。本来、男は欲望の塊です。人の五大欲求(睡眠欲・食欲・性欲・金欲・名誉欲)が文明を進展させ、その脇には常に戦争がありました。それに破れば死を迎え、勝てば全ての欲望が満たされるという、非情な掟を天は人間に与えました。それも、単純に強い種を保存するために……！

昭和二十年の終戦後も、フィリピンのルバンク島で二十九年間に渡って戦闘状態を続けた元陸軍情報将校・小野田寛郎少尉は、戦後の日本

平成30年度 全国防衛協会連合会 運営上の課題

自衛隊は我が国周辺において益々活発化する中国、北朝鮮及びロシアの軍事的活動に対応して警戒監視を強化するとともに、大規模自然災害等に即応して対処している。また安全保障協力の積極的な推進の一環として、アデン湾における海賊対処行動を継続している。加えて、抑止力を顕示するための米艦防護や米空軍機の護衛、共同訓練、親善訓練にも積極的に参加している。こういった活動は、自衛隊の献身的使命感のみに委ねられることではなく、国民全体の責務として捉えるべきである。しかしながら未だに自衛隊の存在根拠が憲法になく、違憲論がまかり通っている状態である。

今後自衛隊の活動は益々厳しくなる直接的脅威への対処のほか、国際社会への平和と安定への貢献、サイバーや宇宙分野での対処など業務の量的増加、地域的拡大、次元の拡大が求められ、部隊の増強、機能の拡大、予算の確保が必要となるであろう。また事に臨んでは危険を顧みず、身をもって職務に邁進する人材の確保は急務であり、国民総力で国を守るという国民意識の啓発は極めて重要な事である。

このような情勢下、当会の目的である「防衛基盤の育成強化への寄与」と「自衛隊に対する支援協力」に基づく活動は、国民の防衛意識の高揚のために益々重要性が高まっているといえよう。

新着任幹部紹介



陸上自衛隊 第三師団長
陸将 田中 重伸
昭和38年12月生
千葉県防大30期
(昭和61年卒)

※角南前師団長は勇退(29年12月)

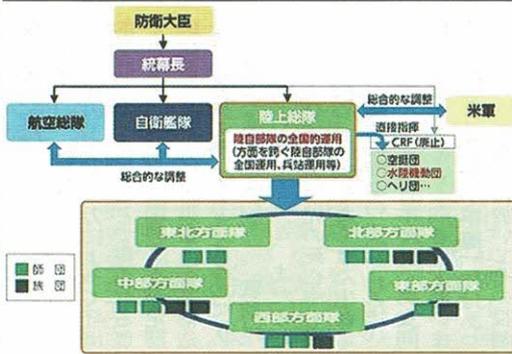
☆自衛隊阪神病院院長兼
川西駐屯地司令
陸将補 越智 文雄
※三九前病院長は退官(30年3月)

防衛トピックス

陸上総隊・水陸機動団新設

日本を取り巻く安全保障環境が厳しくなる中で「有事や災害に迅速に対応するため、全国規模で部隊を運用する司令部機能が必要」との声が上がります。平成25年に閣議決定された中期防衛力整備計画に陸上総隊の新設が盛り込まれました。

総隊は各方面隊の上部に位置付け



られ、トップに司令官(陸将)をつけ、司令部は朝霞駐屯地に配置する。水陸機動団は長崎県佐世保市の相浦駐屯地にある西部方面普通科連隊をもとに二つの連隊を新編し、約2100人態勢で発足。沖縄県、尖閣諸島の有事を念頭に南西諸島の離島が占拠された際の奪還作戦に当たる。

女心の防衛論

「誠意欠如」の憂国論

大阪府立大学教授 堀江 珠喜



新年早々、若者に気の毒な2つの事件が報道された。

まずは大阪大学で、昨年、物理の入試採点ミスにより、30名もの受験者が不合格にされた話。今年4月の入学が許可されたので、何名が再出発の道を選んだか、この拙文が皆様のお手元に届く頃には決まっているはずだ。

この30名のなかには、我が大阪府立大学に入った者も数名いると思われ。昔、府大の工学部(現在の名称は工学域)は、いわゆる「二期校」だったが、その後、「中期日程」を採用。そのため事実上、前期日程の京大や阪大の、滑り止め有力大学である。

有力というのは、力試しで受ける「冷やかし」ではなく、第一希望校がダメなら我が校に来る可能性が高い、という意味だ。もちろん「仮面浪人」もいる。

江崎道朗氏プロフィール

(えさきみちお)



評論家
1962東京都生まれ
九州大学卒業後、月刊誌編集、団体職員、国会議員スタッフを務め、安全保障、インテリジェンス近現代史研究に従事。現在評論家。2014年5月号から月刊誌『正論』に「SEIRON時評」を連載中。著書に『アメリカ側から見た東京裁判史観の虚妄』(祥伝社新書)、『マスコミが報じないトランプ台頭の秘密』(青林堂)、『コミンテルンの謀略と日本の敗戦』(PHP新書)など。鋭い洞察のもとトランプ政権誕生を予測的の中した。

平成30年度会員総会 決定 ※
平成30年6月5日(火) 新阪急ホテル 2階
第一部 議案審議 一六〇〇〜一六三〇
第二部 総会行事 一六四〇〜一七二〇
第三部 記念講演 一七三〇〜一八五〇
演題 「トランプ政権と北朝鮮半島有事」
講師 評論家 江崎道朗(えさきみちお)氏
第四部 懇親会 一九〇〇〜二〇三〇
◎出席お申し込みは同封はがきかFAXでお願いします。

図書紹介

自衛隊元最高幹部 渾身の書
富澤 暉著 (元陸上幕僚長)
自衛隊は英語に訳すと「護衛隊」?
「軍事のリアル」(新潮新書)
他に逆説の軍事論(バジリコ)
折木良一著 (元統合幕僚長 元中部方面総監)
「きれいな戦略」
「戦略の本質」(KADOKAWA)
他に国を守る責任(PHP新書)
元中部方面総監
元火箱芳文著 (元陸上幕僚長 元中部方面総監)
「戦とは何か、国防とは何かを問う」
「即動必遂」(マネジメント社)

会員増勢運動について

ご協力をお願い

大阪防衛協会は、昭和三十八年(1963)一月、北陸地方二帯を襲った豪雪に際し、自衛隊が出勤し、その献身的な働きに感動した関西経済連合会を中心とする多くの財界人によって昭和三十九年二月松下山幸之助氏を初代会長として創設され、平成二十六年に五十周年を迎えました。

協会は創設以来、PKO・災害派遣隊員の激励慰問、入院患者見舞い、殉職隊員家族弔問慰霊祭協力、新入隊員激励、隊員募集協力等の支援活動を行う他、機関紙の発行、講演会・フォーラムの開催、音楽隊演奏会の支援、演習等視察見学、体験飛行・航海、青年部による防衛防災フェスティバルや婚活活動等を行っています。

さらに最近では世界の安全保障環境が激変している中、平成二十八年三月から「平和安全保障法制」が施行されることになりました。

自衛隊は今後ますます厳しい「国を守る気概」示そう!

電話：FAX 〇六-六〇二-二八二四
大阪防衛協会事務局
大阪市中央区北浜四-二-一三
淀屋橋今西ビル4F

※ご入会希望の方、ご紹介下さる方は事務局までご連絡下さい。

千五四-〇〇四
年会費
特別会員(法人) 一口 三万円
賛助会員 一口 一万円
普通会员 一口 三千元
家族会員 一口 二千元

会長 井上礼之
(ダイキン工業(株)取締役会長)

行事メモ

- ☆空第108期一般幹部候補生(防大一般部内等入校式(奈良)) 4月4日(水)
- 信太山駐屯地創立記念行事(大阪) 4月22日(日)
- 平成30年度理事会(大阪) 4月24日(火)
- 中方・有識者懇談会(伊丹) 4月28日(土)
- 天津駐屯地創立記念行事 5月3日(木)
- 第3師団千僧駐屯地創立記念日(千僧) 5月13日(日)
- 平成30年度会青年部員総会(大阪) 5月21日(月)
- 大久保駐屯地創立記念行事(宇治) 5月27日(日)
- 青野原駐屯地創立記念行事(小野) 5月27日(日)
- ☆航空自衛隊奈良基地祭(奈良) 6月2日(土)
- ▽阪神基地隊開隊記念行事(神戸) 6月2日(土)
- 平成30年度会員総会※(大阪) 6月5日(火)
- 中方音楽隊定期演奏会(西宮) 6月8日(金)
- 全国防衛協会連合会総会(東京) 7月4日(水)
- 協会関連 □陸自▽海自☆空自

事務局だより

○平成30年度会員総会は6月5日(火)に決定いたしました。

○時あたかも朝鮮半島情勢は平昌オリンピック後、電撃的な中朝首脳会談のあと、南北首脳会談が予定され、我が国周辺の情勢は目まぐるしく変化することが予想されます。講演者の江崎道朗氏は「SEIRON時評」を連載中です。いま最も旬で気鋭の評論家・江崎道朗氏が鋭く情勢分析します。乞うご期待!

○全国防衛協会連合会が主催して作成した「日本国憲法と自衛隊」という小冊子(23頁)があります。ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

事務局 TEL&FAX 〇六-6202-18284

振袖姿の油彩肖像画をプロに描いてもらった。

今回の件で悪いのは業者だが、私が不思議に思うのは、被害者たちは大雨でも、振り袖を着るつもりだったのか?という点だ。和服は、日本の素晴らしい「芸術」だが、そもそも成人式に振り袖などというドレスコードはない。レンタルなら汚れを想定した価格設定なのだろうが、自分の物なら大事だろう。それなら、悪天候用に洋服も用意するのでは? でなければ、少々危機管理意識に欠ける。もちろん、悪いのは業者だが、世の中、「悪」だらけなのだ。

これら2つの事件とも、若者に一生残るショックを与えたわけだが、しかしそれでも、多くの若者の命を奪う「戦争」に、我が国が巻き込まれることなく70余年、暮らせたことは有り難いと思ひ、特に自衛隊の皆様には感謝している。

だが、このたびの阪大やハレノヒのような不誠実な対応が重なれば、やがて国民全員が被害者となるような大惨事につながるぬという保証はあるのか? いや、ない。

対処なのだ。さて、2つめの事件は、「成人式」購入、レンタル予約した晴れ着が届かず、業者が雲隠れ。急遽、知り合いから振り袖を借りて式に参加した女性もいれば、泣く泣く欠席した被害者も。会社に倒産は有り得ることだが、そんな事態でも経営者は、出る限りの「誠意」を示せないのか? せめて契約履行不可が判明した時点で、相手にその旨を連絡していれば、「二生」一度の成人式当日に大ショック、という死ぬまで忘れられない思い出を、プレゼントせずに済んだらどうにかなった。

ただ私自身、振り袖は(買ったもなかったが)成人式には着ず、黒いパンツロンとセーターにハイヒールで出席。母から「振り袖を着たくても、経済的に無理な人」のことを考えなさい」と言われたのだ。当時、一般的に「レンタル」の発想はなく、着物は老舗呉服屋から購入することが多かった。私自身、人と同じファッションを好まず、洋服姿で、どちらかというと得意気に颯爽と行った記憶がある。(そのかわり、というわけではないが二十歳の思い出に、